精神障害者地域支援部会実施報告について

1　開催概要

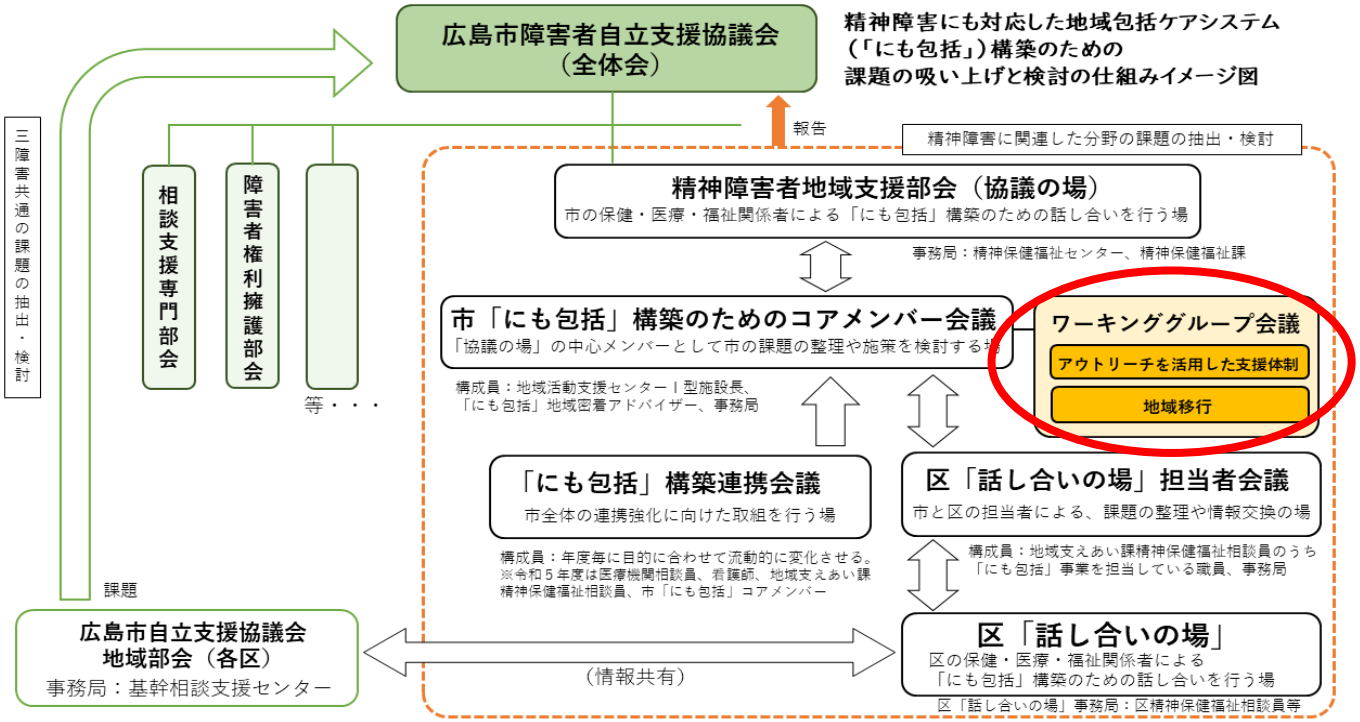
前回報告(令和７年度１回目開催分)以降開催分

日時	場所	出席部会員	主な協議事項
令和７年３月９日(月) 18：30～20：00	中区地域福祉センター ５階　大会議室	11名中11名	議題１　部会長の選出について 議題２　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた令和７年度の取組報告について 議題３　アウトリーチ支援事業のモデル実施について 議題４　精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に向けた令和８年度の取組計画について

※　事務局：精神保健福祉課、精神保健福祉センター

2　主な取組事項

(1)　課題解決に向けた取組について



①　アウトリーチを活用した支援体制の整備について

〇アウトリーチ支援事業モデル実施

開始時期　令和７年10月～令和８年３月
対象地区　東区、中区
委 託 先　東区医師会
目　　的　治療中断者や自らの意思では受診が困難な精神障害者等に対し、一定期間、保健、医療及び福祉・生活の包括的な支援をアウトリーチ（多職種による訪問支援）の手法を用いることにより、新たな入院や再入院を防ぎ、地域生活が維持できるよう支援する体制を構築する。

〇アウトリーチ支援事業のモデル実施の報告

別紙参照

②　地域移行について

〇ワーキンググループ会議

令和６年11月から開始（全10回開催）
構 成 員　精神科病院（相談員）、地域活動支援センターⅠ型、相談支援事業所、地域支えあい課、障害自立支援課、事務局等

目　　的　障害福祉サービスの地域移行支援について、支援の実績やノウハウを有する事業所が少ないため、対応できる相談支援事業所を増やし、地域移行支援が円滑に行えるようになるための取組内容を検討する。

取組事項　支援実績のない事業所に対して経験のある事業所が支援することによる人材育成、支援者に対する事例報告等の勉強会の開催、支援者向け啓発用チラシの作成

⑵　顔の見える関係からなる多職種との連携強化

↓「にも包括」構築連携会議の様子



「にも包括」構築連携会議

目　的　参加者が「にも包括」に対する理解を深め、顔の見える関係を構築することにより、医療機関と保健福祉関係者の連携を強化できる体制を整備する。

参加者　市内の精神病床を有する医療機関の相談員や看護師等　22 名
区「話し合いの場」コアメンバー等　22 名
市「にも包括」コアメンバー　10 名　　（合計 44 名参加）

内　容　①講話（「にも包括」について、その地域がひとつになることの意味）
②市の「にも包括」について
③グループワーク（連携を構築するために必要なことや大切にしたいことについて）

⑶　定着できる地域づくりに向けて、市民への普及啓発や支援者への研修会を開催　※（　）内は令和７年度実績

①　心のサポーター養成研修（開催回数 10 回　323 名養成）
②　高次脳機能障害講演会（開催回数２回　延 205 名参加）
③　市精神障害者家族会連合会共催講演会（開催回数１回　延 74 名参加）
④　各区「話し合いの場」関係者向け研修（開催回数３回　延 98 名参加）
⑤　「にも包括」についての普及啓発（開催回数３回　延 68 名参加）
⑥　各区「話し合いの場」における講演会等（開催回数 53 回　延 2,858 名参加）

３　今後の方向性

令和８年度は、引き続き①課題解決に向けた取組について協議すること、②顔の見える関係からなる多職種との連携強化を行うこと、③定着できる地域づくりに向けて、市民への普及啓発や支援者への研修会を開催することを目標とした、具体的な取組を推進する。